

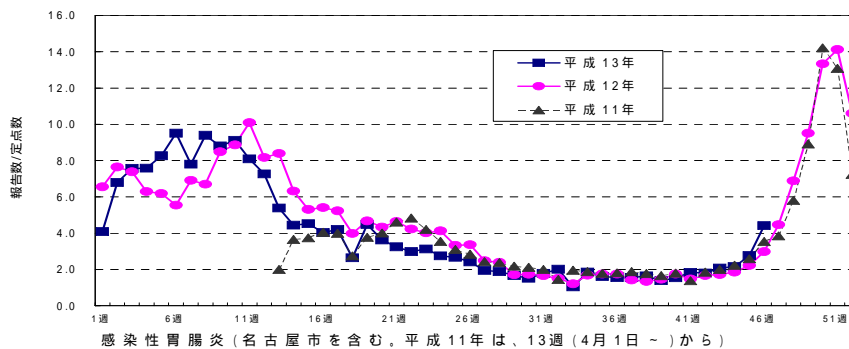
愛知県感染症情報

平成 13 年第 46 週 (11 月第 2 週)

(コメント)

先週に引き続き、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘は流行中ですので注意してください。依然として手足口病の報告があります。

集団風邪による県内で最初の学級閉鎖が西加茂郡三好町でありました。



(定点の先生方からのコメント)

● 尾張西部地区

- ・ 嘔吐が主な感染性腸炎多いです。

(一宮市 あさのこどもクリニック)

- ・ 感染性胃腸炎流行の兆し。

(一宮市 後藤小児科)

- ・ 病原性大腸菌感染者 (0153 8 歳女、01 10 歳女)

ロタウィルスが増えてきました。

パラインフルエンザは相変わらず多いです。

(尾西市 城後小児科)

- ・ まだ手足口病がはやっています。溶連菌も目立ってきました。病原性大腸菌 (01 1 人、06 2 人)。

(犬山市 武内医院)

- ・ 手足口病、溶連菌感染症、水痘が多発しています。アデノ様疾患も多い。アデノチェック陽性例も 4 例あり。

(岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック)

- ・ 感染性胃腸炎が増加してきました。流行性耳下腺炎の流行が続いています。溶連菌感染症、伝染性紅斑散発しています。

(江南市 みやぐちこどもクリニック)

● 尾張東部地区

- ・ ウイルス性胃腸炎（ロタ陰性）が急増しています。手足口病も少し見られます。溶連菌感染は増加しつつあります。

（瀬戸市 津田こどもクリニック）

- ・ 溶連菌感染症、増加傾向です。（兄弟例もあり）マイコプラズマ感染症もまだ目立ちます。

（尾張旭市 佐伯小児科医院）

- ・ 成人の感冒性胃腸炎 散発（発熱、嘔吐、下痢）

（南知多町 医療法人大岩医院）

- ・ 水痘が多いです。手足口病まだみられます。溶連菌感染症増えてきました。

（春日井市 朝宮こどもクリニック）

- ・ 今週は感染性胃腸炎というか、胃腸かぜがめだちました。4歳の女児は40の発熱もあり、インフルエンザかもしれません。

（春日井市 かがわ北病院）

- ・ マイコプラズマ肺炎と、A型溶血性レンサ球菌咽頭炎が相変わらずあります。

（小牧市 鈴木小児科）

- ・ ヘルペス口内炎3名（1歳2ヶ月女、2歳4ヶ月女、10ヶ月女）

（東海市 小児科ハヤカワ医院）

● 西三河地区

- ・ カンピロバクター腸炎 8歳女。病原性大腸菌 01 2歳男

（豊田市 星ヶ丘田中こどもクリニック）

- ・ 病原性大腸菌 025 5ヶ月男

（岡崎市 花田こどもクリニック）

- ・ カンピロバクター 3歳女

（岡崎市 にいのみ小児科）

- ・ マイコプラズマ肺炎（10歳、12歳男）、病原性大腸菌 018 3歳女 サルモネラ 04 4歳男

（岡崎市 川島小児科水野医院）

- ・ 病原性大腸菌 0157 VT1・2（ ）とサルモネラ 09 8歳

（幸田町 とみた小児科）

- ・ カンピロバクター（5歳男、11歳男）。サルモネラ 09 9歳男

（刈谷市 まついこどもクリニック）

- ・ 溶連菌感染症が目立ちます。伝染性紅斑時々

（碧南市 永井小児クリニック）

- ・ ヘルペス口内炎 1歳。感染性胃腸炎が目立った週でした。
(西尾市 山岸クリニック)
- ・ 病原性大腸菌 O18 VT() 11歳男、9歳男兄弟
(西尾市 やすい小児科)
- ・ マイコプラズマ肺炎 3歳女
(三好町 三好町民病院)
- 東三河地区
 - ・ 嘔吐の患者が増えてきました。手足口病の患者さんも相変わらず多くみられる。
(豊橋市 あずまだこどもクリニック)
 - ・ 家族で A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に感染(2歳男、1歳女、36歳女)。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎と流行性耳下腺炎が流行中。感染性胃腸炎が、増えてきました。
(豊橋市 こどもの国大谷小児科)

(1~3類感染症の発生状況)

細菌性赤痢患者 1名

- ・ 豊田市保健所から報告の 36歳男。11/8 発病、11/14 初診、11/14 診定。菌型は、フレキシネル 2b。中国渡航歴あり。

(全数把握の 4類感染症の発生状況)

クロイツフェルト・ヤコブ病患者 1名。

Q熱患者 1名。

第 44 週(10月 29日~11月 4日)の 4類感染症の全国状況

感染性胃腸炎は年末のピークに向け患者報告数の増加が見られている。定点当たり報告数が多くなっているのは、鳥取県(6.4)、福井県(6.2)、宮崎県(5.7)、熊本県(5.4)、石川県(5.3)、大分県(5.2)などである。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、第 19 週よりここ 10 年間で最大の定点当たり報告数が持続している。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数が多くなっているのは、石川県(6.2)、沖縄県(4.3)、富山県(4.2)、長野県(4.1)などである。

(Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋)

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)